

参加お申込み

1. 申込方法

申込は、ファックス・郵送・メールで受け付けます。

○ファックス、郵送の場合は、下の参加申込書を記入の上、申込先に送付してください。

申込先 ファックス 送付先番号 019-629-6944
 郵 送 〒020-8570 岩手県復興局復興推進課

○メールの場合は、「住所」「所属名」「お名前」「電話番号」
 「参加希望の会名」を記入の上、送付先アドレスに申し込みください。
 【送付先アドレス】 AJ0001@pref.iwate.jp

2. 申込締め切り

平成27年1月5日(月) 到着分まで

3. 参加料 無料

なお、1月15日(木)の《交流会》にご参加の方は、4,000円を当日、申し受けます。

4. お問い合わせ先

岩手県復興局復興推進課 電話 019-629-6925

平成26年度 いわて三陸復興フォーラム

参加申込書

岩手県復興局復興推進課 行

住所: _____
 所属名: _____
 お名前: _____
 電話番号: _____

◆参加を希望するもの全てについて、「参加」欄に「○」をご記入ください。

開催日	項目	参加	
平成27年 1月15日(木)	全体会(無料)	<input type="checkbox"/>	
	交流会(参加費:4,000円)	<input type="checkbox"/>	
平成27年 1月16日(金)	第1～第4報告会 (複数選択可) (無料)	第1[「安全」の確保]	<input type="checkbox"/>
		第2[「暮らしの再建」]	<input type="checkbox"/>
		第3[「なりわい」の再生]	<input type="checkbox"/>
		第4[「つながり」の力による復興]	<input type="checkbox"/>
	第5報告会[現地報告会]※(無料)	<input type="checkbox"/>	

※第5報告会を希望の方は、無料バスの乗車定員(バス2台、定員80人を予定)があるため申込みの先着順としております。お申し込みいただいた方への参加の可否や詳細は後日お知らせします。

※平成27年1月5日(月)必着でお願いします。

繋げよう! 続けよう! 一人ひとりの復興アクション



【復興の取組状況】
岩手県知事
達増 拓也
(たつそ たくや)



【基調講演】
大阪大学大学院人間科学研究科
教授 **渥美 公秀**
(あつみ ともひで)



【復興ライブ】
白澤 みさき
(うすざわ みさき)

【パネルディスカッション】



IBC岩手放送
東部支社長
江幡 平三郎
(えばた へいざぶろう)



学校法人 龍澤学園
事務局長
龍澤 尚孝
(たつざわ なおたか)



NPO法人フォルダ
理事
佐藤 さくら
(さとう さくら)



NPO法人まちづくり・ぐるっとおおつち
事務局
清水 章代
(しみず あきよ)



大船渡インターホテル椿
代表
佐々木 博子
(ささき ひろこ)



岩手県沿岸広域復興局土木部
大船渡土木センター
上成 純
(うえなり じゅん)



奇跡の一本松とベルトコンベヤ「希望のかけ橋」(岩手県陸前高田市)

～新たなふるさとづくりに向けて～

入場無料

いわて三陸復興フォーラム

併催:「いわての復興を自治の進化に」第2回シンポジウム

2015.1.15(木)・16(金) 13:30-16:55(予定) アイーナホールほか盛岡市内、大船渡地区合同庁舎

主催/岩手県、岩手県教育委員会

後援/復興庁、岩手県沿岸市町村復興期成同盟会、岩手県社会福祉協議会、NPO法人いわて連携復興センター、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社、産経新聞盛岡支局、日本経済新聞社盛岡支局、岩手日日新聞社、株式会社デーリー東北新聞社、共同通信社盛岡支局、時事通信社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、エフエム岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、盛岡タイムス社

第1日 平成27年1月15日(木)

全体会

会場:いわて県民情報交流センター「アイーナ」
(7階アイーナホール)

基調講演 テーマ「繋がりが紡ぎ出す心の復興へ 被災地のリレー」



大阪大学大学院人間科学研究科

教授 **渥美 公秀** (あつみ ともひで)

大阪大学人間科学部卒業。フルブライト奨学金によりミシガン大学大学院に留学、博士号(Ph.D.心理学)取得。大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得。神戸大学文学部助教授、大阪大学大学院人間科学研究科助教授などを経て、2010年大阪大学大学院人間科学研究科教授に就任。自宅のあった西宮市で阪神・淡路大震災に遭い、避難所などでボランティア活動に参加。これをきっかけに災害ボランティア活動の研究と実践を続けている。現在、特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク理事長のほか、日本グループ・ダイナミクス学会、日本災害復興学会、国際ボランティア学会、日本自然災害学会などの役員を務め、多くの社会活動を行っている。

パネルディスカッション テーマ「繋げよう!続けよう!一人ひとりの復興アクション」



コーディネーター

IBC岩手放送

東部支社長 **江幡 平三郎** (えぼた へいざぶろう)

東日本大震災発生前からIBC岩手放送における沿岸の拠点である東部支社に勤務し、震災前から発災、支援の現場や地元の人々が復興へと歩む姿など現在に至るまで現場で体感。IBC復興支援室員も兼務し、支援する側、される側双方の思いを知る。

パネリスト紹介



NPO法人フォルダ理事

佐藤 さくら (さとう さくら)

黒沢尻北高卒業後、米・ニューヨーク州立大に留学。震災時は現地で募金活動の代表を務めた。大学院修了後の2012年6月に帰郷。北上市のNPO法人フォルダに所属し、陸前高田市で総合型地域スポーツクラブ設立を支援。スポーツを通じた被災地支援に取り組んだ経験を活かすため、現在は2020東京オリンピックパラリンピック競技大会組織委員会国際渉外部に勤務している。



大船渡インターホテル椿代表

佐々木 博子 (ささき ひろこ)

震災前は、大船渡市で「旅館海風苑」を経営するも、被災し流失。その後、気仙地域の観光関係者とともに復興情報の発信、宿泊環境の提供、観光商品や土産品の共同開発を行う「恋しヶ森観光産業復興・復興プロジェクト」に取り組む。2013年9月、「海風苑」を「大船渡インターホテル椿」として同市内に移転新築。三陸を訪れる観光客に快適な宿泊環境とあたたかいおもてなしを提供するホテルを目指す。



学校法人 龍澤学園 事務局長

龍澤 尚孝 (たつざわ なおたか)

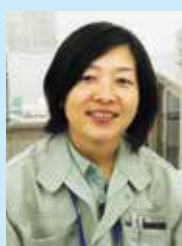
龍澤学園の事務局長として、沿岸市町村と産業振興等各分野における支援協定の締結を担当。同学館が文部科学省から受託した「東日本大震災からの復興・復興を担う専門人材育成事業」等、国の復興支援事業にも積極的に参加している。



NPO法人まちづくりぐるっとおおつち 事務局

清水 章代 (しみず あきよ)

神戸市出身。パフォーマンサー。19年前の阪神・淡路大震災で自ら被災しながらも震災後の子ども達のケアに「地域でつくる演劇」の指導者として参加、また長田にある「FMわいわい」のパーソナリティなど務めた。東日本大震災後、大槌町の避難所などで踊りなどを披露。その後生活の拠点を岩手に移し、大槌町の臨時災害放送局立ち上げに関わる。現在は、ラジオ文化を定着させるべく日々奮闘中。



岩手県沿岸広域振興局土本部 大船渡土木センター 復興まちづくり課 主査

上成 純 (うえなり じゅん)

1996年度大阪府入庁、以来主に河川・砂防を担当。震災時は東京(河川財団)に出向中で、一旦大阪に戻るも2011年から派遣希望を出し続け、2013年度から本県の現所属に派遣。

全体スケジュール

- ★13:30 開会・復興の取組状況
- ★13:50 基調講演(55分)
- ★14:45 休憩(15分)
- ★15:00 パネルディスカッション(90分)
- ★16:30 休憩(10分)
- ★16:40 復興ライブ(15分)
- ★16:55 閉会

復興の取組状況



岩手県知事

達増 拓也

(たつそ たくや)

復興ライブ



白澤 みさき

(うさざわ みさき)

大槌町出身の高校1年生。現在盛岡市在住。小学3年生から民謡を始め、震災後は避難所を回って歌声で被災者を勇気づけた。その姿がマスコミで取り上げられたのをきっかけに、2012年7月、全国デビュー。デビュー曲「故郷(ふるさと)〜Blue Sky Homeland〜」は、USENのリクエストチャートで1位に輝き、その年のレコード大賞新人賞を受賞。

交流会

県・市町村・大学・企業・団体・応援職員OBなど復興に関わる皆さんの情報交換の場として交流会を開催します。

- 1 開催時間 17:30～19:00
- 2 会場 ホテル・ルイズ 3階 万葉の間
- 3 参加費 4,000円

第2日 平成27年1月16日(金)

報告会

5つの報告会に分かれて、それぞれの分野における全国自治体からの応援職員等の活動発表や、意見交換などを行います。

報告会	開催時間	会場(定員)	概要
第1報告会 「安全」の確保	9:30～16:30	エスポワールいわて 2階大ホール(140人)	県土整備分野の復旧・復興事業、交通ネットワーク、埋蔵文化財調査など <併催:復興県土づくりシンポジウム>
第2報告会 「暮らし」の再建	9:30～12:00	プラザおでって 3階大会議室(70人)	災害廃棄物処理、被災地における保健福祉対策、雇用の取組など
第3報告会 「なりわい」の再生	9:30～12:00	岩手水産会館 5階大会議室(130人)	漁港再建、農地復旧などの建設分野及び農業、水産業などの再建支援など
第4報告会 「つながり」の力による復興	9:00～12:00	岩手県公会堂 2階21号室(70人)	多様な主体との協働による復興支援、復興の情報発信など
第5報告会 現地報告会	10:30～14:30 盛岡発 8:00 盛岡着 17:00	大船渡地区合同庁舎 4階大会議室(80人)	各分野の復興に関する取組など(現地視察を含む)

御注意

- ① 各報告会の詳細の内容は平成26年12月12日(金)までに順次県ホームページに掲載します。
- ② 参加お申し込みの際には、裏面の「参加申込書」によりお申し込みください。
なお、第5報告会(現地報告会)で、盛岡発着のバス(運賃無料、定員80人)を御利用希望する方につきましては、申込みの先着順とさせていただきます。参加の可否や詳細は後日お知らせします。
- ③ 第1～3報告会については、主に行政職員向けの内容となっておりますので申込の際御留意願います。

各会場案内図

